

平成28年度 山口県桜ヶ丘高等学校 学校評価書 校長 (辻岡 敦)

1	学校教育目標
自由と平和を尊び創造的で自主精神に充ち、心身とも健康な自己教育力の高い国際社会人を育成する。 ①豊かな情操と人間尊重の態度の育成 ②基礎学力の充実と創造的思考力の育成 ③個性・能力の伸長と進路選択能力の育成 ④自由と責任を重んじる民主的態度の育成 ⑤公正な判断力と社会適応能力の育成 ⑥健康な心身の育成 中・長期目標・・・建学の精神を踏まえ、すべての生徒がその個性・能力を最大限に伸ばすことを願い、人格形成のために必要な基礎基本を重視し、ゆとりある、しかも、充実した学校生活を送らせ、教養と専門技術に習熟し、社会の急激な変化に対応できる創造性と思考力に富み、国際的で個性豊かな心身ともに健全な生徒を育成する	

2	現状分析（前年度の評価と課題を踏まえて）
①基礎学力が不足している生徒が多く、全学年学科において基礎学力向上の取り組みに迫られている。 ②新入生の懲戒処分者が多く、入学時より中学校と高等学校の違いを理解させ、きめ細かな指導をすることに迫られている。 ③生徒の進路実現に向け、生徒個々に対しきめ細かな指導が必要である。 ④部活動の加入率を高めるとともに、特に女子及び文化部の加入率を高め活性化を図る必要がある。 ⑤全学科コースの特色ある取組および結果を見出し、受験生への広報が必要である。 ⑥学級運営目標を達成するために、事前の打ち合わせおよび調整、教職員の業務内容、質および量を精査する必要がある。	

3	本年度重点目標を置いて目指す成果・特色、取り組むべき課題
①PCDA サイクルのつとり、各教科基礎学力の定着に努める。 ②基本的な生活習慣の体得に努める。 ③生徒一人一人を大事にするキャリア教育に努める。 ④部活動の加入率を高め、学校行事や部活動等の活性化に努める。 ⑤中学校との交流を深化し、本校に求める情報を入手し、学校運営等に反映させる。 ⑥分掌間の情報を共有し、交流を深化させ、OJTの特権に努める。	

評価領域	重点目標	評価基準	達成度
1 学年	「(教員の指導)」をそろえる		
	①基本的な生活習慣の確立した高校らしい生徒の育成 ②基礎学力の向上	・部活動加入率70%以上 ・頭髪検査で初回検査の全員合格率90% ・生活指導、遅刻指導における保護者召喚を各学期8人以内におさえる ・朝学漢字テスト特進平均90点、進学平均70点、キャリア・アーティスト・商業・電気60点以上	◎ △ ○ △
2 学年	「(自己理解を深め、進路実現に積極的に取り組む姿勢)」をそろえる		
	進路の明確化	・落ち着いた学校生活を送るための環境作りができたか。 ・色々な場面によって、適切な基準作りと運用ができたか。 ・進路実現のために、生徒一人一人に応じた準備とバックアップ体制ができたか。	△ △ ○
3 学年	「(将来についての心構え)」をそろえる		
	全員卒業・進路実現	・生徒指導対象者・欠点保有者を減少させることができたか。 ・生徒に応じた進路を決定させることができたか。	△ ◎
特別進学	「(成績の伸長)」をそろえる	進研模試で学年の人数が 4：A3以上に50%以上占める 3：A3以上に10%以上占める 2：B3以上に100%占める 1：評価2以下	2
一般進学・進学	「(基礎学力を定着させ、自ら努力する姿勢)」をそろえる		
	安易な方法に頼らない進路決定をさせる。	1学年：朝学漢字テスト特進平均90点、進学平均70点、キャリア・商業・電気60点以上 2学年：朝学集中して取り組むことができたか。宿題・課題の提出率80%以上。オープンキャンパスへの参加。 3学年：朝学集中して取り組むことができたか。具体的に進路について考えているか。オープンキャンパスへ参加し、進路について考えようとしているか。	◎ ○ ◎

キャリア	「(社会・職業の現実的理解力)」をそろえる	○社会・職業の現実的理解が深まったか。 ○協働学習の姿勢が身に付いたか。 ○社会人基礎力となる、考える力、主体的に動く力、チームで活動する力が身に付いたか。(ソーシャルスキル) ○自己肯定感が向上したか。	○ ○ ○ ○
	協働する力をつける	○ジョブシャドウイングまたは、職業体験活動に参加し、協働して課題を解決する姿勢が身についたか。 ○将来の生き方、あり方について、現実吟味しながら考える力がついていたか。	△ △
アーティスト	「(一人ひとりの自己表現力を磨く姿勢)」をそろえる	・芸能系専攻者と美術系専攻者のコラボレーションができたか。	◎
	進路実現にむけて、自己教育力の育成 ・地域貢献活動への参加 ・進学率をあげる	・アーティストコース生徒が、1回以上の参加および出展ができたか。	◎
商業	「(学ぶ環境)」をそろえる	・教師の指示がなくてもできる ・教師の指示があればできる ・教師の指示があってもできない	○
	学力の向上	・卒業時までまでに電卓検定1級、ビジネス文書検定2級合格	○
電気	「(技術者としての意識)」をそろえる	・11月に開催される予定の「ものづくりフェア」および「桜ヶ丘祭」に出展ができたか。 ・資格、検定試験へ挑戦し、平均合格率が50%以上か。	○ ○
総務部	「(円滑な運営という意識)」をそろえる		
	[庶務係] ・広報文書 広報文書において円滑な運営をする ・会議記録 会議記録を確実にする ・奨学生 奨学生募集における業務を円滑に行う	・広報文書 担当者を決め、ファイル保管をお互いにチェックできたか ・会議記録 会議記録は輪番制をとり、もれがないようにできたか ・奨学生 期限内に確実に事務手続きを行うことができたか	△ △ ◎
	[学校行事企画運営係] 関係部署との連絡・調整を入念に行い円滑に行事が行えるようにする	・早めの調整ができたか ・反省が活かされたか	○ △
	[渉外係] 関係各分掌との連絡を密にし、円滑に行う	・関係各所との報連相ができていますか。	○
教務部	「(教育活動の活性化)」をそろえる	時間変更等の確認は出来たか 早めの対応が出来たか 活性化が促されたか 不具合により滞らなかつたか	× × ◎ ○
	[研修係] 教員研修の実施	企画と実施が出来たか。	○
	[情報管理係] 1. 情報管理の徹底 2. 適切な情報処理 3. 校内LAN設備等の管理	・不具合に迅速に対応できているか。	◎
	[時間割係] 迅速・丁寧な対応	①全員で協力して時間割作業を滞滞なく出来たか。 ②急な対応が必要な状況で落ち着いて迅速に対応できたか。	◎ ◎
	[教具・教科書係] ・円滑な学習活動のための環境整備 ・教科書・教材の受発注を確実に行う	4：公簿教具・教科書の不備・不足の指摘0件 3：公簿教具・教科書の不備・不足の指摘5件 2：公簿教具・教科書の不備・不足の指摘10件以内 1：公簿教具・教科書の不備・不足の指摘10件以上	△
	[道徳・人権教育係] ・他愛と思いやりの心の育成 ・いじめの未然防止	①対策委員会との連携がとれたか。 ②研修会に必ず誰かが参加できたか。 ③自分の学校に誇りを持ち、楽しく登校することができたか。	× ◎ △
	[国際交流係] 国際交流の推進	①短期ホームステイ研修が実施できたか ②中・長期交流についても実施に近づけたか	△ △
教務部	[視聴覚室] ・学校行事の放送準備・運営の徹底 ・学校行事の映像撮影・記録・管理	・諸行事や放送に関わるトラブルやミスがゼロであったか。	◎
	[情報処理室] 施設・設備の点検	・学期ごとに記録の集約と担当者の情報交換の実施	○

	[図書室] 図書室の活性化	・生徒が入りやすい図書室づくりが行えているか。 ・自習室としても活用できているか。	○
生徒部	「(生徒への服装頭髪指導の実施)」をそろえる		
	[生徒指導係] 1. 問題行動発生防止 2. 服装頭髪指導の徹底	1. 問題行動の発件数を昨年度より減らすことが出来たか。 2. 全教員による服装頭髪指導が実施出来たか。	× △
	[交通指導係] 1. 自転車事故の減少 2. 交通規則の遵守	・交通事故件数を昨年度より減らすことができたか。 ・交通安全への意識が高まったか。 ・交通マナーが守られているか。	○ △ ×
	[人権教育係]		
特別活動部	「(環境)」をそろえる	・生徒会執行部を中心として特別活動を活発にし、教育環境、生活環境を整え、保つことができたか。	○
	[生徒会係] 生徒会執行部のリーダーシップの育成	①各クラスの委員とともに活動できたか ②積極的な取り組みができたか ③計画的に進めることができたか	○
	[体育・文化部係]	・部活動顧問と連携を図り、部活動キャプテンを中心として活動を活性化する環境をととのえられたか。	○
進路部	「(進路意識)」をそろえる	○生徒一人ひとりが進路意識をもち、実現に向けて早い段階から取り組めたか。 ○進学、就職それぞれの課外に対して、学年団のサポートが十分できたか。(文責：徳永)	△
	[進学指導係] 実力の養成	進研模試で学年の人数が 4：A3以上に50%以上占める 3：A3以上に10%以上占める 2：B3以上に100%占める 1：評価2以下	2
	[就職指導係] ・就職試験対策強化 ・企業との連携強化 ・職業理解教育の実践	○一次出願者が90%以上 ○一次採用試験合格率80%以上 ○新規指定求人確保5社以上 ○追跡調査回答回収率80%以上 ○教員研修におけるアセスメント活用技術の理解度80% ○進路未決定生徒3%以下	○ ◎ △ △ ○
保健環境部	「(健康管理と防災安全に対する意識)」をそろえる		
	[保健計画係] 健康・安全教育の徹底	①学校医・関係機関等と連絡を密にし、円滑に行えたか ②テーマを的確に選択できたか	◎
	[環境係] 環境美化の徹底	①点検表によって美化の到達基準が満たされているか。 ②在庫管理などを通して、必要な物を確保できたか。 ③修繕が必要なものの把握と対処が十分できたか。 ④教員・生徒に周知できたか。 ⑤リサイクルの実績が上がったか。	○ ○ ○ ○ ◎
	[安全防災対策係] 危機管理意識を高める	①カーポートに危険予知の項目がしっかり書かれているか。 ②避難訓練において教員・生徒が避難経路を把握しているか。5分以内に避難できたか。 ③全職員が積極的にワークショップに参加し、質問等の発言がかわされるか。	○ ○ ◎
	[保健室] 健康教育の徹底	①タイムリーな情報を発信できたか ②迅速な情報収集と関係者への提供ができたか ③早期受診指示および、受診結果報告の回収ができたか	◎ ○ ○
	[教育相談室] 中途退学者の減少	・不登校による退学者を、教育相談にかかわった生徒の8%以内に抑えると同時に、特別入試生徒の1/3が卒業及び進級できたか。	○
生徒募集部	「(教職員の生徒募集に対する意識)」をそろえる		
	総受験者数 1500名 入学手続き者数 240名	4：目標値を大幅に上回った。 3：目標値を達成した。 2：目標値を下回った。 1：目標値を大幅に下回った。	2
事務	「(新しい仕組みに取り組む心構え)」をそろえる	新会計基準に則った会計処理が確実に実施できたか会計監査により評価する。	○
		作業時の環境、保管状況を常に確認しながら事務処理を実行できたか。	◎

5 学校関係者評価 田中賢一（元教諭・徳山地方郷土史研究会顧問）・保護者

概評

平成28年度業務計画書・報告書（自己評価）に見られる各評価領域の達成度表記を分析してみると、おおよその評価は読み取れる。私学に共通して言える大きな課題に、果敢に取り組み試行錯誤している実態が如実に表れている。

学校の存在基幹となる生徒募集と表裏一体である学習指導、進路指導、生徒指導、特別教育活動の成果の継続的な実績は、地域社会における住民の関心事であり、学校評価に大きく直結することになる。

その中でもとりわけ近年の連続した特徴的な傾向として、第一に進学指導分野で大きな成果を上げていることは、関係者として極めて喜ばしいことである。昨年度の実績も、受験生の数から見て難関大合格率は誇りうるものだと評価できる。

第二に就職指導分野であるが、この周南地域は、県内最大規模の石油化学コンビナート地帯という恵まれた環境にあり、景気の回復基調にも恵まれ、昨年度の求人倍率も特に周南市は県下トップクラスで、本校卒業生の地元求職者はほぼ目標を達成している。

▲行事計画書・報告書に見る自己評価達成度

◎	○	△	×	四段階評価 2
20	33	21	7	3

①自己評価達成度の分析 ー全84項目ー（重点目標の達成の検証◎・分析○・改善策△・対策なし×）

②自己評価 重点目標の達成度の具体的内容（一覧表）

項目 / 達成度	◎	○	△	×	四段階評価 2
一学年	1	1	2	0	0
二学年	0	1	2	0	0
三学年	1	0	1	0	0
特別進学・特進	0	0	0	0	1
一般進学・進学	2	1	0	0	0
キャリア	0	3	1	0	0
アーティスト	2	0	0	0	0
商業	0	2	0	0	0
電気	0	2	0	0	0
総務部	1	2	3	0	0
教務部	7	5	7	5	0
生徒部	0	1	2	2	0
特別活動部	0	3	0	0	0
進路部	1	2	3	0	1
保健環境部	4	9	0	0	0
生徒募集部	0	0	0	0	1
事務	1	1	0	0	0

▲この表からの所感（学年・科・コース）

イ、1 学年

- ・朝学の奨励と基礎学力の向上に更に努める。
- ・基本的生活習慣（服装・頭髮・挨拶・遅刻等）確立の目に見える効果を期待。

ロ、2 学年

- ・この学年の重点目標である進路の明確化のために、教師、保護者、生徒との趣向を凝らした面談が進路意識の高揚に繋がったことは成功だった。
- ・学校行事等による繁忙の為、教師間の連携が雑に陥ることのないように留意する。

ハ、3 学年

- ・生徒指導対象者・欠点保有者の減少に取り組み、全員卒業（見込み）にこぎつけ、進路実現が達成できた。

ニ、特別進学・特進

- ・各学年とも、模試への取り組みに対し再検討の要あり。

ホ、一般進学・進学

- ・1 学年、3 学年は、朝学に集中して取り組んだ。

ヘ、キャリア

- ・進路指導では近年において職場体験学習は必須である。他の科、コースも同様。

ト、アーティスト

- ・校外での初の美術展開催に成功はよかった。
- ・ボランティア活動（各イベント）への積極的参加もよかった。

チ、商業

- ・もっと各種の資格取得に積極的に挑戦して上級資格を取得して欲しい。

リ、電気

- ・電気工事士・危険物等の資格取得に意欲的に取り組み、合格率の向上に努めて欲しい。

▲校務運営機構（全般）所感 ー努力目標ー

イ、教員研修（初任者研修も含む）の徹底化（校外・校内）。

ロ、学年・科・コース・教科会議の制度化（学校行事の中に位置づける）。

ハ、人権教育（いじめ、自殺対策）に対する教員間の共通認識の醸成が急務（マニュアル保持）。

ニ、生徒指導上の情報交換、収集や活用について教員間の深化を図る。

ホ、進路指導教材に大学、企業や自衛隊等公務員の紹介ビデオを大いに活用する。

ヘ、生徒会役員のボランティア活動への積極参加を促す（例：※回天記念館墓碑への墨入れ・※民間や自治体の要請によるイベント参加・他団体との海底清掃・各種募金活動・障害者支援や慰問等）。

ト、全校で校内環境美化の推進（きれいな教育環境の維持）。

チ、PTA・同窓会との連携強化。
リ、スクールバス（送迎）活用の柔軟化。
ヌ、教員・生徒対象の防犯・防災教育訓練の定着化。
※毎年実施

●保護者意見

- ・学校内における生徒の生活指導にも、保護者を活用していただいてもいいのではないかと。
- ・子供のことで、悩みを持っておられる保護者が多く、気軽に学校へ悩み事を相談できる仕組みを設けていただきたい。
- ・保護者会・授業見学等、学校行事における駐車場の案内をわかりやすくしていただきたい。
- ・保護者が参加できる学校行事において、どこまで保護者が参加出来るかを、わかりやすく案内して欲しい。
- ・小・中学校と違い、保護者のネットワークがないので、ネットワークが作れるような機会あるいは行事を企画していただきたい。

6 学校評価総括（取組の成果と課題）

- ① 基礎学力の向上を目指して各学年、学科コースにおいて様々な取り組みを行っているが目標としている数字をクリアする事は出来ていない。しかし各取り組みを地道に継続する事により少しずつではあるが環境ができてきた。
- ② 生徒指導に関しては係を中心として、様々な取り組みを行い問題行動の減少に努めたが、結果的には問題行動の増加を見た。原因としては起こった問題に対応する事が中心で予防に対するしどろが不十分であったことと、指導力の弱体化が考えられる。
- ③ 部活動に関しては、本年度より一年生の全員加入（1学期強制）と言う取り組みに伴い、最終的加入率75.5%となり活性化につながってきている。
- ④ 中途退学者の減少が大きな命題であったが結果的に前年度を上回る31人となった。原因としては前年度は頑張った特別入試の生徒が二年の段階で力尽きた部分が多い。
- ⑤ 進学に関しては国公立の合格者なしと言う状況であった。近隣進学校の定員割れ等取り巻く環境も厳しいが、早急な対応が求められる。
- ⑥ 第2種電気工事士受験に向けて、外部講師の指導を受け、合格率及び受験意欲が飛躍的に向上した。次年度以降も継続的に実施していきたい。

7 次年度への改善策

- ① 本校においては基礎学力の向上が絶対的に求められるものである。そのためには超具体的な取り組みを継続的に行う必要がある。
- ② 研修への積極的な参加、特に若手教員の研修の場を積極的にこもとも生徒指導を始め教科指導、部活指導等のあらゆる指導力の向上を求めなければならない。
- ③ 進学に向けた取り組みを精査し、前例にとらわれず新たな方法を模索し、継続する必要がある。
- ④ 中退者ゼロを目指し、生徒指導上の問題、教育相談の問題等を早めの対応によって解決し、減らさなければならない。そのための教師のスキルアップも図らなければならない。
- ⑤ 近隣中学校との関係を密にしこちら側の情報を積極的に発信し桜ヶ丘の理解度を深めてもらう必要がある。
- ⑥ 入試制度の見直し。